

『臨床こころの発達研究会』講演会のご案内

私たちは「大人のなかに子どもを子どものなかに大人を」を治療理念に大人と子どもの事例検討会と臨床セミナーの開催を目的とする『臨床こころの発達研究会』を福岡市にて平成30年4月に立ち上げました。それに伴って元東京慈恵会医科大学医学部精神科教授牛島定信先生と北里大学大学院発達精神医学教授生地新先生をお招きして特別講演会を以下の要領で開催したいと思います。

牛島先生は「幼少期の万能体験とそれに伴う脱錯覚体験は大人になっても時と場所を替えて、あるいは交差しながら、繰り返し生動している」という新しいウィニコットの治療論を、生地先生は精神分析を学びつつも諸理論にとらわれない臨床重視の子どもの治療論を展開されています。まさに本研究会の理念を地で行くお二人です。お二人のお話を伺える機会を皆様にもと考え、ここに講演会を開いてご案内する次第でございます。季節は梅雨入り前後でございますが、多くの方のご参加をお待ちしております。

平成30年4月吉日

『臨床こころの発達研究会』

川谷大治、杉本流、岩永洋一、渡邊恵里
山崎篤、恒吉徹三、稲員修平、柴田俊祐

『臨床こころの発達研究会』講演会

日時：平成30年6月17日（日）

場所：クリスタルビル

〒810-0001 福岡市中央区天神4丁目6番7号

会費：6000円

定員：120人（先着順）

申込：右記のアドレス(kawatani@road.ocn.ne.jp)にお申し込みください。

実行委員会よりメールにて会費振り込み先をご連絡します。入金確認後、参加番号をお知らせします。この手続き終了をもって受付完了です。

参加希望者は守秘義務を守れる方で以下の資格を有する者（医師、看護師、心理士、精神保健福祉士、作業療法士、など精神科臨床に携わる者）であれば、どなたでも大歓迎です。

このセミナーは臨床心理士の研修ポイントとして申請する予定です。尚、福岡市の観光客増加に伴い宿泊を予定される方は早めの予約をお勧めします。

プログラム

I. 開会の辞：9時00分～9時25分

川谷大治（川谷医院）

『臨床こころの発達研究会の立ち上げについて』

II. 特別講演2題：9時30分～13時00分

司会：恒吉徹三（山口大学）

特別講演I 9時30分～10時50分

生地新：『子どもの心の問題の見立てと治療について ―力動精神医学の立場から―』

特別講演II 11時00分～12時30分

牛島定信：『精神分析的パーソナリティ論を臨床に活用する ―フロイト、ウィニコット、そして森田神経質―』

ディスカッション 12時30分～13時00分

昼休み（13時～14時）

III. シンポジウム：14時～16時50分

司会：稲員修平（川谷医院）

『大人のなかの子どもと子どものなかの大人』

1. 小児科医の立場から・・・・・・・・・・渡邊恵里（川谷医院）
2. 臨床心理士の立場から・・・・・・・・・・柴田俊祐（川谷医院）
3. 精神科医の立場から・・・・・・・・・・杉本 流（川谷医院）
4. 精神分析的療法家の立場から・・・・岩永洋一（川谷医院）

IV. 閉会の辞：16時50分～17時

山崎篤（中村学園大学短期大学部）